

東成区

ごみゼロ



リレー

ニュース

第24号

令和2年3月発行

食品ロス削減、プラスチックごみゼロへ！

「ごみ減量市民交流会 2020」開催される



日野町エコライフ推進協議会の事例発表

交流会第2部では、ワークショップ1「地域に根ざした市民、事業者、行政の協働をどうつくるか」、ワークショップ2-A、B「プラスチックごみゼロをめざして」、ワークショップ3-A、B「食品ロスを減らすには」、ワークショップ4「雑がみの集め方、出し方」に分かれました。

各分科会で課題報告と意見交換がおこなわれた後、交流会第3部でワークショップの全体共有として、各分科会のまとめが報告されました。

普段、交流する機会のない様々な地域の方々とざっくばらんに意見交換しながら地域のごみ減量について考えることができる有意義な交流会となりました。

令和2年2月14日(金)午後1時30分から大阪産業大学梅田サテライトキャンパス(大阪市北区大阪駅前第3ビル)において、大阪ごみ減量推進会議主催の「ごみ減量市民交流会 2020」が開催されました。

主催者あいさつに続いて、交流会第1部の事例発表「滋賀県日野町のエコライフ推進協議会の活動」では、日野町役場におけるごみ減量の取り組みについての現況報告と今後の課題、エコライフ推進協議会の活動についての報告がありました。



第2部ワークショップでの意見交換風景

「東成区」ってどれくらい 分別できているのでしょうか？

家庭から出される普通ごみは年間約 33.2 万トンあり、その中には資源化できるものが約 8.3 万トンも含まれています。

ごみの減量、資源の有効利用には、資源化できるものを分別して出すことが大切です。

【平成30年度東成区の分別率】は・・・

資源ごみ 75.6%	容器包装プラスチック 39.2%	古紙・衣類 54.3%
空き缶・ペットボトル 空きびん・金属製の生活用品 スプレー缶（別袋） カセットボンベ（別袋）	（主な品目）卵のパック 発泡トレイ・発泡スチロール お菓子の袋（紙は除く）など ♻️マークの表示があるもの	新聞（折込チラシ含む） 段ボール・紙パック・雑誌 その他の紙・衣類 ※品目ごとに分別して排出

資源ごみ・古紙・衣類に比べて、容器包装プラスチックの分別率が悪いのがわかります。

そこで・・・『**容器包装プラスチック**』をもっと分別しましょう！

分別率アップをめざして → 1回に出す普通ごみの中から、さらに

1人あたり **5g**（ペットボトルの「キャップとラベル」2本分）

の**容器包装プラスチック**を分けて出しましょう！

各小学校において出前授業（体験学習）を開催予定

毎年、年度初めに各小学校に出前授業（体験学習）の開催依頼をいただいた小学校に、東部環境事業センター職員が訪問し、環境問題をテーマにした出前授業（体験学習）を実施しています。昨年度も各小学校区の廃棄物減量等推進員の皆様にご協力をいただき、環境局職員と一緒に各小学校に出前授業に参加していただきました。今年度も、各地域の小学校から開催依頼があった場合、お声掛けをさせていただきますので、ご都合の許す限りご参加いただきますよう、よろしくお願いいたします。



昨年度の出前授業の風景

《編集・発行》

大阪市東部環境事業センター

大阪市生野区巽中1-1-4

TEL: 06-6751-5311 FAX: 06-6753-3041

<http://www.city.osaka.lg.jp/kankyo/index.html>

